

令和7年度 第2回 浜松市立都田小学校運営協議会

日時 令和7年7月2日(水)  
午後1時15分～午後4時  
会場 浜松市立都田小学校 会議室

< 次 第 >

受付

午後1時05分 ～ 午後1時10分

1 挨拶・説明(学校より)

午後1時10分 ～ 午後1時15分

2 授業参観(5年1組「図画工作科」)

午後1時15分 ～ 午後2時00分

3 協議会

午後2時10分 ～ 午後4時00分

<会場:会議室> 午後2時10分 ～ 午後2時30分

(1) 会長挨拶(今年度の目標について)

(2) 校長挨拶

(3) 議長の選出(前回決定事項確認)

(4) 前回会議録確認

<会場:5年1組> 午後2時30分 ～ 午後3時10分

(5) 校内研修への参加

<会場:会議室> 午後3時10分 ～ 午後4時00分

(6) 熟議 ※敬称略

・授業参観と事後研修について

・前回の意見を踏まえて、具現化の仕方について

Aグループ:小林、波多野、渥美、松嶋

Bグループ:山下、森上、影山、内山

(7) 報告

学校支援コーディネーターより

(8) 連絡

・自己評価について

・第3回の日時について

・都田川調査について

(9) 閉会

4 今後の学校運営協議会開催予定と主な内容

12月17日(水)	第3回学校運営協議会 9:45～12:00 【学校評価から見た課題への対応策の検討】
2月26日(木)	第4回学校運営協議会 13:00～15:30 【6年生を送る会参観、R8学校経営構想の承認、R8都田小学校いじめ防止基本方針について、学校運営協議会の自己評価】

## 令和7年度 第1回 都田小学校 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月15日（木） 13時15分から15時15分まで
- 2 開催場所 都田小学校 会議室
- 3 出席委員 山下 英治、波多野 千津子、森上 茂美、  
内山 眸、渥美 渡、松嶋 千智
- 4 欠席委員 小林 宗吉、影山 善久
- 5 オブザーバー 田力 秀太（都田協働センターCS担当）
- 6 学 校 佐々木 和也（校長）、高林 秀仁（教頭）、  
杉浦 ひとみ（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 杉浦 ひとみ
- 9 授業参観の感想  
2～6年生の授業参観の感想として、委員からは以下の発言があった。
  - ・高学年は落ち着いた雰囲気もあり、自主的に手を挙げる子どもの姿が見られた。（松嶋委員）
  - ・落ち着いて授業をする姿が見られたが、低学年はもっと元気の良さがでてきたらいいと感じた。（渥美委員）
  - ・高学年は中学進学に向けて、ベテランの先生がしっかりまとめているのを感じた。（内山委員）
  - ・どのクラスも活気があって良かった。高学年になると論理的に考えるようになってさすがだと感じた。（森上委員）
  - ・自分で考えることと、人と比較しながら考えるということをよく考えて指導していると感じた。（波多野委員）
  - ・授業がデジタル化して、一台のモニターを使っていたが、都田小の人数だからできるのではなか。（山下委員）
- 10 運営協議会規則の確認  
教頭から、別紙資料に基づき運営協議会規則について説明があった。
- 11 議長の選出  
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、山下委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
- 12 協議事項
  - （1） 学校運営の基本方針について
  - （2） 夢育やらまいか事業に対する意見書について

- (3) 都田小学校いじめ防止基本方針について
- (4) 自発的な学校支援のあり方（挨拶、体力向上）

### 13 会議記録

司会の教頭から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和7年度の学校運営基本方針について説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを認めた。

#### (2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校運営の基本方針を具現化するための説明があり、協議の結果、全員異議なくこれを認めた。

#### (3) 都田小学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づきいじめ防止基本方針や、都田小学校での取り組みについて説明があり、全員異議なくこれを認めた。

#### (4) 自発的な学校支援のあり方について（挨拶、体力向上）

議長の指示により、教頭から、挨拶と体力向上に向け今後どのような取り組みができるか意見を求めたところ、各グループから以下の発言があった。

【Aグループ：波多野委員、渥美委員、松嶋委員】

・自ら挨拶をするという主体性を子どもに持たせることが「気持ちの良い挨拶」になるのではないかと。

・挨拶は、大人から子どもに、そして上級生から下級生に教えることが大切だと思う。

・体力作りや運動の楽しさを体得するには外部講師を招くようにしたらどうか。

【Bグループ：山下委員、森上委員、内山委員】

・挨拶運動をしても、その場限りの挨拶となり、変わらないのではないかと。

・家庭や学校で、子どもたちがどんな挨拶をしたのかを話し合うことで、挨拶を見直すきっかけとなるのではないかと。

### 14 連絡と次回議長の選出

教頭から、次回会議は令和7年7月2日（水）午後13時15分から会議室で開催される旨の報告があった。また次回議長の選出について委員に意見を求めたところ、森上委員から内山委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### Ⅲ1(1) 研究の概要

研修主題 夢に向かって 命を輝かせる子を育む

#### 主体的・対話的で深い学びのある授業づくり

本校では、令和5年度より、自分の夢や目標に向かって努力を続け、困難なことがあっても、仲間や地域の人とかかわり合いながら課題を解決していくことで、自分を少しずつ成長させていく子供、そして自他の命を大切に、仲間とともに生きる喜びを感じながら生き生きと自分らしさを発揮していく子供「夢に向かって 命を輝かせる子」を育てるために、キャリア教育の概念を根底にした教育活動の実践し、本年度で3年目となる。

令和5年度末の学校評価「聞く・伝える力」の項目では、肯定的な回答が少なく、本校の実態として対話的な学びについて課題があることが分かった。そこで、令和6年度は、これまで取り組んできた【主体的な学びを引き出す主な方策】を継続・発展しながら、【対話的な学びの実現】を目指した授業作りをすることで、深い学びにつなげ、本校の課題解決と学校教育目標の具現化を図る取り組みをしてきた。

#### 【主体的な学びを引き出す主な方策】

- 生活に即した必要感のある課題提示
- 課題解決のための方法を選択し、見通しをもつ学習計画
- 課題に対する考えの変容を見取る振り返り

#### 【対話的な学びを引き出す主な方策】

- 必要感のある聞く、伝える活動の工夫
  - ・対話する場面の位置付けと工夫（対話の仕掛け）
  - ・対話のスキルアップ（対話のトレーニング・スキルアップ）
- 自分の考えと比べながら聞き、自分の考えに生かす
  - ・対話によって自分の変容を実感できる場の設定（教師による価値付け）
- 付けたい力と学びの見通しを共有するキャリア年計の活用

これらを重点として校内研修を中心に取り組み、令和6年度2学期末の学校評価では、

- ★相手の思いや考えを受け止めながら、話を聴くことができる  
目標 75%→57%達成
- ★学びと将来の関わりに気付く  
目標 80%→93%達成
- ★学んだことを生かすことができる  
目標 80%→64%達成

の達成状況だった。これをもとに、令和7年度は重点目標を

- ☆相手の思いや考えを受け止めながら、聴くことができる 目標 75%
- ☆学びと将来の関わりに気付くことができる 目標 90%
- ☆進んで学ぶことができる 目標 80%

として、これまで培ってきた【主体的な学びを引き出す方策】を継続・発展しながら、【対話的な学び】の充実、さらに【自己選択のできる学び】の場を設定していくことで、個別最適な学び・協働的な学びを取り入れた授業づくりを目指して取り組んでいきたい。

# 夢に向かって命を輝かせる子

- 相手の思いや考えを受け止めながら、話を聴くことができる。(75%)
- 学びと社会や将来の関わりに気付くことができる。(90%)
- 進んで学ぶことができる。(80%)

## 深い学び

👂 聞く・伝える力

👊 チャレンジする力

主体的な学び

対話的な学び

自己選択のできる学び

!/? 考える力

🤝 つなげる力

- 生活に即した必要感のある課題提示
- 課題解決のための方法を選択し、見通しを持つ学習計画
- 課題に対する考えの変容を見取る振り返り
- ◎必要感のある聞く、伝える活動の工夫
- ◎自分の考えと比べながら聞き、自分の考えに生かす対話的な学び
- ◎付けたい力と学びの見通しを共有するキャリア年計の活用
- ◎既習事項を生かした解決方法や表現方法等の自己選択

キャリア教育全体計画

キャリア教育の能力	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力	
キャリア4つの力	聞く・伝える力 	チャレンジする力 	考える力 	つなげる力 	
目指す子供の姿	都田小のとらえ	相手の気持ちや考えを理解しながら話を聞き、自分の考えを伝えるとともに、周りの人と進んで関わることができる。	自分を見つめて、自分の良さに気付いたり、目標に向かって努力を続けたりすることができる。	進んで課題を見付け、解決のための見通しを持って課題解決に取り組むことができる。	今の学びと将来や地域社会とのつながりを考えたり、学びを自分の成長や将来につなげたりすることができる。
	1年	話を聞き、自分の思いを伝えることができる。	自分のいいところが分かり、前向きな気持ちでがんばることができる。	めあてをもって活動することができる。	身に付けた力を次の活動につなげることができる。
	2年	教師や友達の話最後まで聞くことができる。	自分のよいところが分かり、できることを増やそうとしている。	めあてに向かって活動することができる。	身の周りの人々の思いを感じ、自分にできることを考えることができる。
	3年	話を最後まで集中して聞くことができる。	自分の良さに気付く、粘り強く努力することができる。	進んで課題を見つけて活動することができる。	生活の中で自分の役割が分かり、自分にできることを考えることができる。
	4年	自分の考えや気持ちを分かりやすく伝え、友達と協力して活動することができる。	自分の良さや成長に気付き、粘り強く努力することができる。	進んで課題を見付け、見通しをもって活動することができる。	生活の中で自分の役割が分かり、責任をもって果たすことができる。
	5年	相手の気持ちや考えを理解しながら聞き、理由をつけて話すことができる。	自分を振り返り、自分の良さに気付いたり、よりよくするための工夫をしたりすることができる。	進んで課題を見付けて見通しをもち、対話を通して課題解決に取り組むことができる。	自分と社会のつながりについて理解し、自分の良さを生かして役割を考えることができる。
	6年	思いや意図をもって聞いたり、伝えたりすることができる。	よりよい自分になるために振り返り、自分で考え判断して活動することができる。	進んで課題を見付け、主体的に解決のための見通しをもって、課題解決に取り組むことができる。	自分と社会とのつながりについて理解し、自分の生き方について考えることができる。
具体的な手立て	1 校内研修・学習指導 (1)主体的な学び・対話的な学びの実現のために ○生活に即した必要感があり、対話したくなる課題設定と単元構想 ○課題解決のための方法を選択し、見通しを持つ学習計画 ○どのような意見も受け止め、一緒に考えようとする学びの土台づくり ○既習事項や解決方法の選択を生かした学び ○付けたい力と学びの見通しを共有するキャリア教育年間指導計画の活用 (2)子供が自己の成長を実感するために ○自分を振り返る「見つめる日」の設定 ○課題に対する考えの変容を見取る振り返り ○教師、子供、保護者で共有するキャリア・パスポートとキャリア・カウンセリング				

<p>○学びを未来につなげる一言</p> <p>2 地域とともにある活動 (1)地域の人・もの・ことを生かした生活科・総合的な学習の時間の充実 ○ねらいを明確にした地域活動(育てたいキャリア教育の力を共有) (2)地域の伝統の継承 (3)地域の一員としての意識を高める活動</p> <p>3 楽しい学校づくり (1)温かな人間関係作り (2)自己肯定感を高める活動 (3)居心地の良い集団作り</p>
--



Q1 『第4次浜松市教育総合計画』ってなに?

- 教育基本法第17条第2項に基づく浜松市の教育に関する計画です。
- 今後10年間(令和7年度～16年度)の教育政策の方向性や具体的な施策、目標などを定めています。
- 予測困難な時代においても、こどもやこどもの成長を支えるすべての人たちが、将来に向かって共に歩んでいくための道しるべとしての役割を果たすものです。



Q2 計画ではどのようなことをするの?

- 本計画では、3つの方針に基づいた5つの政策実現に向けて、25の施策を推進します。どの施策も様々なデータやデジタル技術の活用(教育DX)を意識して取組を進めます。



Q3 施策の成果はどうやってはかるの?

- 本計画は、計画(Plan)、実行(Do)、測定・評価(Check)、修正・改善(Action)のサイクルに基づいて、マネジメントを行います。
- 計画の評価は、施策ごとに指標(目標を達成できたかどうかを判断する基準)を設定し、その状況を分析します。その結果を活かして、具体的な取組を重点化、完了、修正・改善へと反映させていきます。



教育に関する相談はこちらへ

- **教育総合支援センター**  
教育相談専用ダイヤル ..... ☎ 053-457-2424  
不登校、いじめ、友人関係、学習、進路、子育てなどの相談に応じています。  
ポルトガル語、英語、スペイン語、フィリピン語でも相談できます。  
〔Atendemos também em português, espanhol, filipino e inglês. Consultation in English, Spanish, Tagalog(Philipino) and Portuguese.〕 ..... ☎ 053-457-2429
- **いじめ子どもホットライン** ..... ☎ 053-451-0022  
いじめに関する専用ダイヤルです。24時間、年中無休で相談をお受けします。
- **24時間子供SOSダイヤル** ..... ☎ 0120-0-78310 なやみおう

浜松の教育について知りたい方はこちらへ

浜松市教育委員会 教育総務課

〒430-0929  
浜松市中央区中央一丁目2番1号 イーステージ浜松オフィス棟6F  
TEL 053-457-2401 FAX 050-3730-8496  
E-Mail k-kikaku@city.hamamatsu-szo.ed.jp

浜松市のホームページ

浜松市 教育 検索



この用紙は「雑がみ」としてリサイクルしましょう!



第4次

浜松市教育総合計画



基本理念

# 描く夢や未来の実現

## 主体性

物事を自分事としてとらえ、  
目前の課題の解決や、描く未来の実現に向けて  
粘り強く取り組む

## 多様性・包摂性

一人一人の自分らしさを認め、  
互いを尊重しあいながら、  
誰もが活躍できる環境を実現していく

## 信頼・協働

それぞれの立場の人が、人や組織に信頼を置き、  
協働したり、相互に作用したりして、  
よりよい関係性を構築していく

## 目指すこどもの姿

自分らしさを大切にすることも

他者と協働し、主体的に行動できることも

自己調整しながら、粘り強く取り組むことも



## 目指す教職員の姿

こどもの自分らしさを受け止める教職員

愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員

専門性と指導力を磨き続ける教職員

### 方針Ⅰ 自分や浜松の未来を創る人づくり

#### 政策 1 未来の創り手に求められる力の育成

- ① 確かな学力の育成
- ② 豊かな心の育成
- ③ 健やかな心身の育成
- ④ グローカル人材の育成
- ⑤ 情報活用能力の育成
- ⑥ 持続可能な社会・地域の形成に参画する態度の育成
- ⑦ 育ちや学びをつなぐ教育の推進

#### 政策 2 多様なニーズに対応した学びや支援の充実

- ① 多様なニーズに対応した子ども・保護者への支援
- ② 特別な支援を必要とする子どもの学びや支援の充実
- ③ 不登校児童生徒の学びや支援の充実
- ④ 外国につながる子どもの学びや支援の充実
- ⑤ 多様な才能・個性を伸ばす機会の提供

### 方針Ⅱ 安全・安心で魅力ある環境づくり

#### 政策 3 「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上

- ① 志ある優れた教職員の確保
- ② 専門性を有する質の高い教職員の育成
- ③ 多様な支援スタッフの配置
- ④ 教職員がいきいきと働ける環境の整備

#### 政策 4 安全・安心に学べるより良い教育環境の整備

- ① 新しい時代の学びを実現する学校施設等の整備
- ② 学校安全の推進
- ③ 中山間地域等における教育環境の向上
- ④ 学びの機会確保に向けた支援
- ⑤ いじめの問題への対応

### 方針Ⅲ 子どもの学びや育ちを支える連携・協働

#### 政策 5 多様な人材・主体との連携・協働

- ① コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- ② 魅力ある地域人材や団体等との連携
- ③ 家庭教育支援の推進
- ④ 放課後の居場所づくり

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ( )

<本年度の目標>

・学校支援活動をより積極的・自発的に行いたい。その結果を振り返ることで、活動を充実させていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった  
(理由)

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ( )

<本年度の目標>

- ※ 前年度に協議会で協議した目標を記載する。
- ※ 目標が、会議体として相応しい目標となっているか、また、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目1をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目2をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった  
(理由)

- ※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 委員個人の目標ではなく、協議会の目標を記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。